

【2月15日（月）放送朝礼の話】

全校のみなさん、おはようございます。今日は雨の月曜日です。

1月14日からの二度目の緊急事態宣言が発令されて、約1か月が経ちました。幸い学校は通常通りに学校生活を送ることができていますが、社会では飲食店の営業時間が制限されたり、会社の勤務が在宅勤務になったりと様々な影響が出ています。

その成果が少しずつ表れているのか、最近の新規感染者数はだいぶ減ってきています。しかし、入院患者数を見るとまだまだ危険領域のままです。このまま良い状態が続いて、医療のひっ迫が改善されるようにと願っています。

この週末、13日土曜日の夜中11時過ぎに、宮城、福島を中心に震度6強の大きな地震が起きました。先生は寝ていましたが、携帯電話に入った地震速報で目が覚めて知りました。この地震は、10年前の3月11日に発生し、2万人近い死者と行方不明者を出した「東日本大震災」の余震だということです。宮城や福島に住んでいる方々は、きっと突然の激しい揺れに、10年前の恐怖がよみがえったことと思います。ただ今回の地震では、震源の位置の関係で津波が起きなかったこと、死者が出なかったことは幸いでしたが、各地で停電や土砂崩れ、水道管の破裂など、様々な被害が出ています。コロナ禍での被災を思うと、本当に胸が痛みます。

先生が避難訓練の時にもよく話をしますが、私たちの住む地域も数十年の間に、大きな地震が高い確率で起こると言われています。また、世界全体が地震の活動期に入ったので、いつ、どこで大きな地震が起こるか誰もわかりません。このようなニュースを見聞きしたときに、他人事だと思わず、自分のことと捉えて「今。この状況で大きな地震が起きたら・・・」と想像力を働かせて、避難の仕方や身の回りの危険等について、様々なことを考えてほしいと思います。

もう一つ。先週は、東京オリンピック・パラリンピックまであと半年を切った時期でしたが、組織委員会の会長の森喜朗（もり よしろう）氏が、女性を蔑視する発言が原因で会長職を辞任するというニュースがありましたね。みなさんは、何を感じましたか？

先生は、人権感覚を高く、正しくもつことの大切さはもちろんですが、同時に、言葉を口にするものの責任の重さも強く感じました。当たり前のことですが、一度口から出た言葉は戻りません。

みなさんは、友達に声をかけるときに、その言葉が相手にどんな思いをさせるかを考えていますか？「うざい」「ばか」などの嫌な言葉を、深く考えずに口にしていますか？その言葉が、言われた人の心を深く傷つけていることがあるかもしれません。また、あなた自身の信頼を失っているかもしれません。傷ついた心は簡単には治りませんし、失った信頼も簡単には取り戻せません。それくらい言葉って、とても大切なものなのです。

これからは、相手や周りの人の気持ちを考えてから言葉を口にするように意識しましょう。そして、できるだけお互いが気持ち良く感じる言葉をたくさん口にできるといいですね。そして、草平小学校が、たくさんの気持ちの良い言葉であふれた学校になるといいなあと考えています。

寒さも少しずつ和らいできています。元気に1週間頑張りましょう！

以上で先生のお話を終わります。